

平成27年度 政策づくり塾

第1回活動速報（開塾式など）

平成27年5月8日（金）、4期目となる政策づくり塾が市民塾生5名・市職員塾生7名の合計12名の塾生の参加をもってスタート！

多々見市長のあいさつ、市長との記念撮影から始まり、塾長の講義、グループディスカッションと盛りだくさんの活動でした。政策づくり塾は、来年3月まで12回程度の活動を予定しています。

市長あいさつ(要旨)

- ◆市長2期目となるこの4年間は「舞鶴版地方創生」の実現が最大の目標です。
- ◆舞鶴市の特色ある歴史、文化、自然など地域資源を最大限に活かし「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」を推し進め、定住人口の減少を抑制するとともに、交流人口の拡大を図り、定住人口10万人に匹敵するまちの活力を実現することであり「交流人口300万人・経済人口10万人」都市を目指すというものです。
- ◆政策づくり塾では、市民には「行政の考え方や、施策の進め方にも理解を頂ける次世代の地域のリーダー」になっていただくこと、市職員には「市民の中に入って地域の課題を見つけ、市民とともに考え、解決に向け積極的に行動する職員」になってもらうということを目的としています。
- ◆市民と行政が一体となってまちづくりを進めることの象徴であると考えています。
- ◆舞鶴には良いところがたくさんあります。舞鶴に生まれた若者が残りたいと思うようなまちにしたい。それには市職員だけではなく、市民の皆さんにも手

伝ってもらわなくてはいけません。自分たちのまちは自分たちで変えられるのですから、是非行動に起こしてほしいと思います。大いに期待しています。

- ◆今年も塾生の皆さんと市長である私が懇談する機会を持ち、まちの話題や将来像について語り合う予定です。大変楽しみにしています。



▲市長と仲良く記念写真

窪田塾長による講義～政策づくり入門～

- ◆政策づくり塾は市民には「市役所の目線」、市職員には「市民の目線」で考える場。共通のマインドとポイントの体験をしてほしい。
- ◆政策の作り方などを学習し、今、自分たちでできそうなことを実際にやって実績を積むことを目的にしている。
- ◆実績と経験を積むことで、自治体に対して説得力や影響力を持つことができると考える。
- ◆「夢を忘れない」と同時に「市を動かして何かをしてもらう」という発想ではなく、夢の実現のために自分たちでできることは何かという思いで活動してほしい。
- ◆地域にあるものを活かし、地域を明るく楽しく元気にするようなものを生み出してほしい。



▲熱のこもった講義を行う窪田塾長

グループディスカッション

「舞鶴のここが好き！」をテーマにグループディスカッションを実施しました。

初対面同士にも拘わらず、いろいろな意見が出され、最後はしゃべり足りないような雰囲気です。終了時間になりました。



第2回活動

6月3日（水）18：30～20：30
舞鶴市役所 202会議室にて

「舞鶴市の現状と課題」「地方創生に向けた市の取り組み」「舞鶴市の予算」について講義を受けます。